

「重陽の節句」茶会

日 時 平成 24 年 9 月 29 日(土)

会 場 旧園邸・松向庵

対 象 小学生以上

定 員 25 人×2 席、計 50 名程度

参加費 1 人 500 円

席 主 表千家茶道教授 出村宗貞

内 容 金沢には歴史的にも貴重で由緒ある茶室が数多くあります
そうした茶室の一つである「旧園邸・松向庵」におきまして
五節句のひとつである重陽の節句に合わせ、五節句のいわれ
や風習を解説し、併せて茶会を開催します
心静かに「茶室でのひととき」を過ごしてみませんか

平成二十四年九月二十九日(土)

重陽の節句茶会記

於 旧園邸・松向庵

主 出村宗貞

寄付

掛物 兼中齋筆 懷紙 秋菊有佳色
脇地袋二 塑像彩色人形 夕映

紺谷力作

中ノ間

掛物 太玄老師筆 月二雁ノ絵
贊端居シテ云々

本席

掛物 菊ノ絵 景文筆
香炉 獅子

弘入作 惺齋箱書付

琵琶台二
花入 籠

季ノ物

釜 惺齋好刷毛目切合

喜平作
喜平作

風炉 惺齋好ツボツボ透琉球風炉

真塗長板

虫ノ絵細水指

英治作

茶器 十代宗哲写春秋一双ノ内秋草模様大棗

泉齋作

茶碗 大樋焼 銘つれづれ

九代長左衛門作 而妙齋箱書付

替 交趾 菊文

翠嵐作

九谷焼 菊ノ絵

東山窯

茶杓 銘初紅葉

柴田英雄作

建水 銀溜結紐蒔絵

雅峯作

蓋置 真葛焼 万寿菊ノ絵

香齋作

菓子器 九谷焼 月二兔ノ絵

東山窯

菓子 被綿

水本製

御茶 加陽の白

綠翠園詰

萆盆 櫛形粒足一閑塗

表朔作

火入 香炉釉

樂入作

萆入 タトウ

吉左衛門作

煙管 如心齋好 筋

浄益作

吐月峯 白竹四寸五分

次の間

掛物 尋牛齋筆 色紙 清秋竹露深

以上